



2025年8月現在、写真の研修医を含めて計11名の研修医が在籍しています。

臨床研修プログラムは、医師だけが頑張っても成立しません。みなさんのご協力が不可欠です。どうぞよろしくお願いいたします。

※「トピックス」も併せてご参照ください。



研修医の声

研修1年目：茨城県出身

国家試験が終わって医者になった気でしたが、臨床に出てみると分からないことばかりです。実践で使える知識を一日も早くきちんと身につける必要性を痛感しています。

研修1年目：茨城県出身

大学時代は患者さんを治療するのが医師の務めだと思っていたのですが、研修に来て初めて、実際は患者さんに治療のことや今後のことを説明する比重がとても大きいことに気が付きました。

研修1年目：東京都出身

研修医にも処置や診察を積極的に行わせてくれると知って、ここでの研修を希望しました。実際に行わせてもらえることで、実践的な知識が確実に身につけてきているのを感じています。

研修2年目：千葉県出身

緩和ケアの研修では、患者さんに寄り添い、言葉も丁寧に選び、最期の瞬間をどのように過ごしていただくかを指導医と相談しながら進めてきました。貴重な経験と学びを得ることができました。

研修2年目：石川県出身

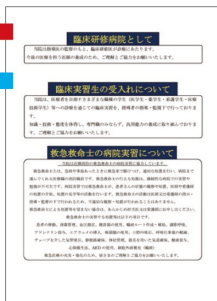
1年目は臨床がまったく分からない状態からのスタートだったのですが、最近はかなり慣れてきました。初めて任された患者さんが数日後に元気に退院されたときは、やりがいを感じました。

Q 研修医に期待することは？

A 当院での2年の研修を終えたあかつきには、当直も一人でこなせる独り立ちした「医師」に成長してくれることが目標です。そして将来、当院で研修を受けた医師が一人でも多く、当院に戻ってきてくれると嬉しいです。

Q 患者さんへのメッセージは？

A 患者さんの中には、研修医に不安を感じる方がいらっしゃるかもしれません。しかし、臨床研修は、明日の医療の担い手となる貴重な人材を育てるうえで欠かせない重要な教育です。みなさん、研修医へのご理解とご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。



患者さんへのご理解を呼びかけるポスターを院内に掲示しています。